

DPP-4 阻害薬の選択

2016年7月2日 県連薬事委員会

●DPP-4 阻害薬の第一選択

①薬価（自己負担額）からの選択 → ジャヌビア錠 50mg を 1日1回

②効果からの選択 → エクア錠 50mg × 1日2回

ジャヌビア錠 50mg × 1錠 136.5 円 × 1回 × 28日 = 3822 円 (3割負担で 1146.6 円)

エクア錠 50mg × 2錠 80.1 円 × 2回 × 28日 = 4485.6 円 (3割負担で 1345.6 円)

3割負担 1か月で 199 円の差

●ジャヌビア錠の上限は 1日 50mg とする（電子処方上の上限を 50mg に設定する）

効果不十分の場合は エクア錠 50mg × 1日2回 へ変更する。

現在ジャヌビア錠 1日 100mg 服用患者はエクア錠 50mg × 1日2回 へ変更する。(主治医に変更可能か確認を進める。)

ジャヌビア錠 100mg の HbA1c の低下率は 50mg と同等(用量依存的に効果は上がらない)

●腎機能障害例は

①ジャヌビア錠 中等度腎機能障害 25mg × 1日1回 (最大 50mg × 1回)

重度・末期腎不全 12.5mg × 1日1回 (最大 25mg × 1回)

②エクア錠 50mg × 1日1回

●肝障害合併時はトラゼンタ錠 5mg × 1日1回 とする

●エクア錠を投与するときは、定期的に肝機能検査を行う。

●SU薬との併用（インクレチン（GLP-1 受容体作動薬と DPP-4 阻害薬）の適正使用に関する委員会）

グリメピリド 2mg/日を超えて使用している患者 は 2mg/日以下に減じる。

グリベンクラミド 1.25mg/日を超えて使用している患者は 1.25 mg/日以下に減じる。

グリクラジド 40 mg/日を超えて使用している患者は 40mg/日以下に減じる。